

医療費を有効に使いましょう

国民健康保険を支えているのは、皆さんが所得などに応じて納めている保険税です。

しかし、年々医療費は増え続け、国民健康保険の運営は厳しさを増しています。

みんなで支え合うこの仕組みを維持するためにはどうすればよいか、一緒に考えましょう。

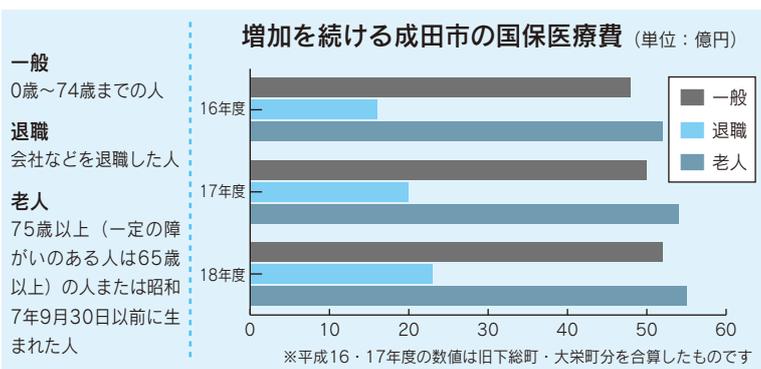
増え続ける医療費

急速な高齢化や医療技術の進歩などにより、国民健康保険から負担する医療費は年々増え続け、運営は大変厳しくなっています。

このまま医療費が増え続けると、国民健康保険制度の維持が困難になってしまいます。

節約はちょっとした工夫で

国民健康保険という相互扶助の仕組みを維持するには、医療費の増加を抑え、有効に使わなければ



なりません。それには、わたしたちのちょっとした工夫が必要です。

●医療費節約のコツその①

「かかりつけ医」をもちましよう
いつでも相談できる「かかりつけ医」を決めておくことで、安心です。日ごろから健康管理をしておくと、病気の予防、早期発見・早期治療につながったり、必要に応じて適切な専門医を紹介してくれます。

【選び方・付き合ひ方のポイント】

- 近所の開業医などを選ぶ
- 相性がよいお医者さんを選ぶ
- 決めたら全幅の信頼を寄せる
- 健康診断などの結果を報告する

●医療費節約のコツその②

「かかりつけ薬局」をもちましよう
薬を処方してもらった薬局を一つに決めておくことで、次のようなメリットがあります。

- 自分の「薬歴」(処方された薬の記録)ができる
- 薬の飲み合わせや重複処方が防げる
- 処方された薬の内容が分かる
- 服薬の指導や相談を受けられる
- 必要以上の薬の処方を防げる

●医療費節約のコツその③

なるべく一つの医療機関で受診しよう
一つの病気で何度も医療機関を

変えると初診料を何度も支払うことになり、医療費が増加します。

●医療費節約のコツその④

時間外や休日の診療は避けましよう
別料金がかかるので、急病のとき以外は診療時間内に受診しましょう。

●医療費節約のコツその⑤

健康診断を受けましよう
年に1回は健康診断を受け、病気の早期発見・早期治療に心掛けましよう。



マナーを守って正しい受診を

スムーズな診察とお医者さんとの信頼関係構築のためにも、受診のマナーを守りましよう。

- 保険証を忘れない
- 受診時間を守る
- 受診は素顔で
- 症状は隠さず正確に伝える
- 病歴・体質も伝える
- お医者さんの指示は必ず守る

※くわしくは保険年金課(☎20-

1526)へ。

早期発見・早期治療に役立てて人間ドック助成

次に当てはまる国保加入者が人間ドックなどを受けるとき、費用の助成を行っています。

国保で人間ドックの助成を受ける人は、市の特定健康診査を受けることができます。

- 成田市の国保に1年以上継続加入していて、保険税を完納している世帯に属する35歳以上の人
- 前回の人間ドック助成から1年以上(脳ドックは2年以上)経過している人

助成を受けることのできる病院

- 成田赤十字病院、成田病院、藤倉クリニック、千葉脳神経外科病院、県立佐原病院、北総栄病院、聖隷佐倉市民病院

助成額

- 人間ドック：受検費用の70%
- 脳ドック：20,000円

申請方法

病院でドックの予約をし、検査日などが決まったら保険証と印鑑を持って保険年金課または下総・大栄支所市民福祉課へ。当日までに承認書が郵送されますので、それを持って検査を受けてください。